

第11回

特別講演「身近な城館」
当尾に多く存在するお城のお話

当尾文化祭

令和7年 1月25日(土)10:00~16:00

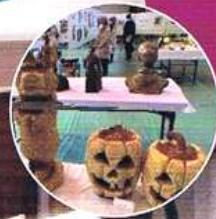
26日(日)10:00~15:00

会場 当尾の郷会館

当尾野菜の
販売も!



作品展示と、
講演・音楽発表も
体育館で一緒に
行います



【作品展示】絵画、書道、陶芸
写真、彫刻、活花、絵手紙、
手芸品、小・中学生の作品 等

【催し】たこ作り、絵手紙体験、
フォークバンド演奏、二胡演奏、
フルートアンサンブル 等



※詳細は裏面をご覧ください

主 催 当尾文化祭実行委員会・社会福祉協議会当尾支部

後 援 木津川市・木津川市教育委員会・(一般社団法人)木津川市観光協会・当尾区長会

いづみ写景展・当尾 2025

=第11回 当尾文化祭参加展=



開催期間 2025年1月25日（土）～26日（日）
展示会場 当尾の郷会館

いづみ写景俱楽部

作成にあたって

第11回当尾文化祭が開催されいづみ写景倶楽部として参加することとなり参加者を募った。当尾にお住いの倉山会員の呼びかけによるもの。7名の会員が参加し展示された。

ここにこの催しの記録として、写真展を中心に、文化祭全体の模様も含め、写真作品編と当尾文化祭編に分け小冊子とした。

当尾文化祭には初めての参加であったこともあり、少々まごついたが、いい展示会ができ喜びである。会場レイアウトもいい感じで、割り当てられた場所も良く、開催側には感謝の思いである。

写真展示は、当会から7名13作品、他3名の個人5作品の計18作品からであった。当尾に関する写真展と言う事もあり、浄瑠璃寺、岩船寺の作品他石仏のものが大半であったが、当尾の持つ魅力は他にも多くあるとの思いから、範囲を広げ今後表出していきたいとの感想をもった。

文化祭では、講演会、演奏会、出店なども行われ、私の思った以上の充実した内容で、開催側のご苦労が伺われた。

来年も開催されるだろうから、今後も会として参加させもらい、展示を通して楽しく研修すると共に、当尾文化祭を盛り上げる一助になればと願う。

2025年1月吉日



会場・当尾の郷会館



いづみ写景・当尾展2025 出展者リスト

氏名	タイトル	サブタイトル	撮影場所
森本道子	初秋の浄瑠璃寺		浄瑠璃寺
倉山美幸	雪の岩船寺		岩船寺
矢崎英夫	浄瑠璃寺	猫浄土	浄瑠璃寺
	石仏の路	秋を巡る	石仏の里
	岩船寺	刻カエル	岩船寺
村上政子	浄瑠璃寺		浄瑠璃寺
	金蔵院		金蔵院
河崎恭広	合掌	ライトアップされた岩船寺	岩船寺
	美の再構成	ライトアップされた岩船寺	岩船寺
	幽玄	ライトアップされた岩船寺	岩船寺
三谷和幸	筍ニヨキニヨキ		当尾
徳安博之	矢来の夏	浄瑠璃寺	浄瑠璃寺
	趣	浄瑠璃寺参道茶店	浄瑠璃寺

* 記名順は 会場入口よりのものです。

*掲載作品は会場での撮影です
色違い、反射光があります。

展示会場



展示会場

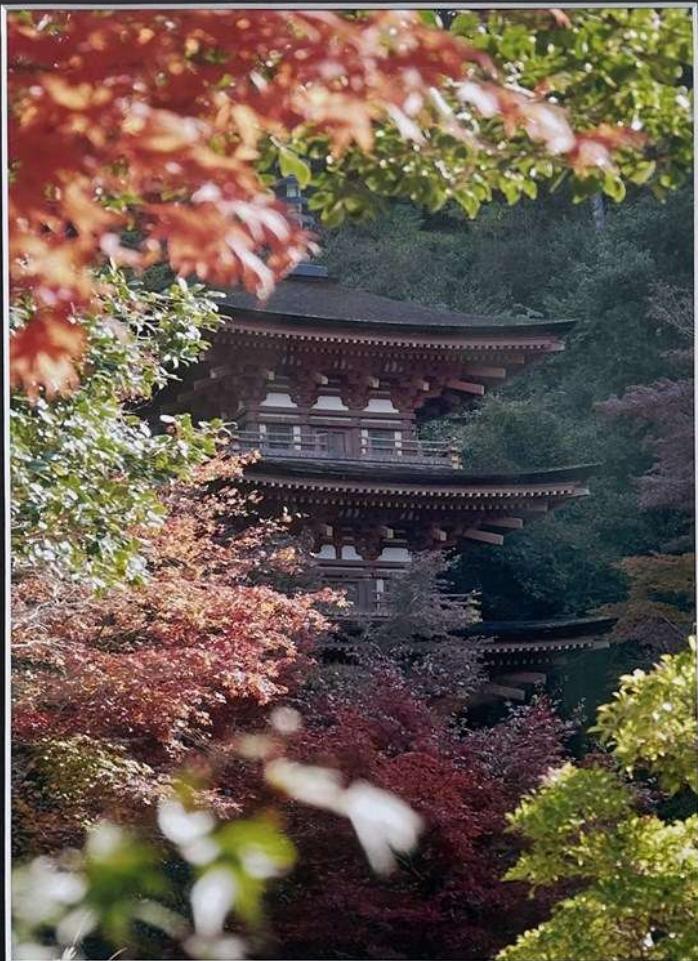




当会・展示会案内

いづみ写景俱楽部案内





初秋の淨瑠璃寺

森本 道子

写景

いづみ写景俱楽部



雪の岩船寺

倉山 美幸





My Furusato is Touono
当尾の里

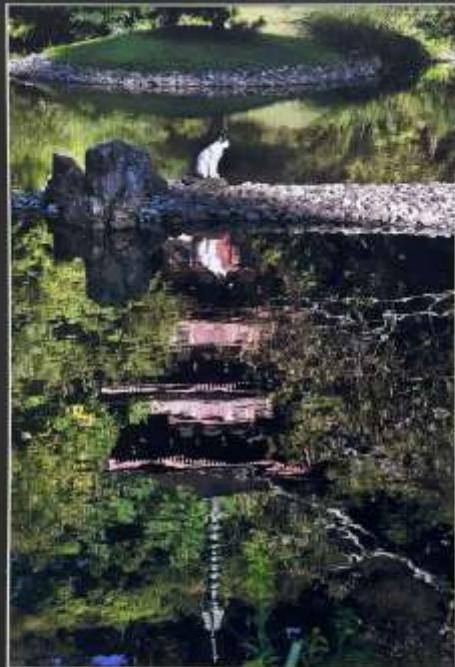
淨瑠璃寺＝石仏の里＝岩船寺



淨瑠璃寺
— 石佛の里 —

石仏の跡
— 猿を読む —

岩船寺
— 聞かぬ山 —



淨瑠璃寺

— 猿を讀む —





岩船寺

= 刻カエル =

第11回 当尾文化祭

いづみ写景俱楽部





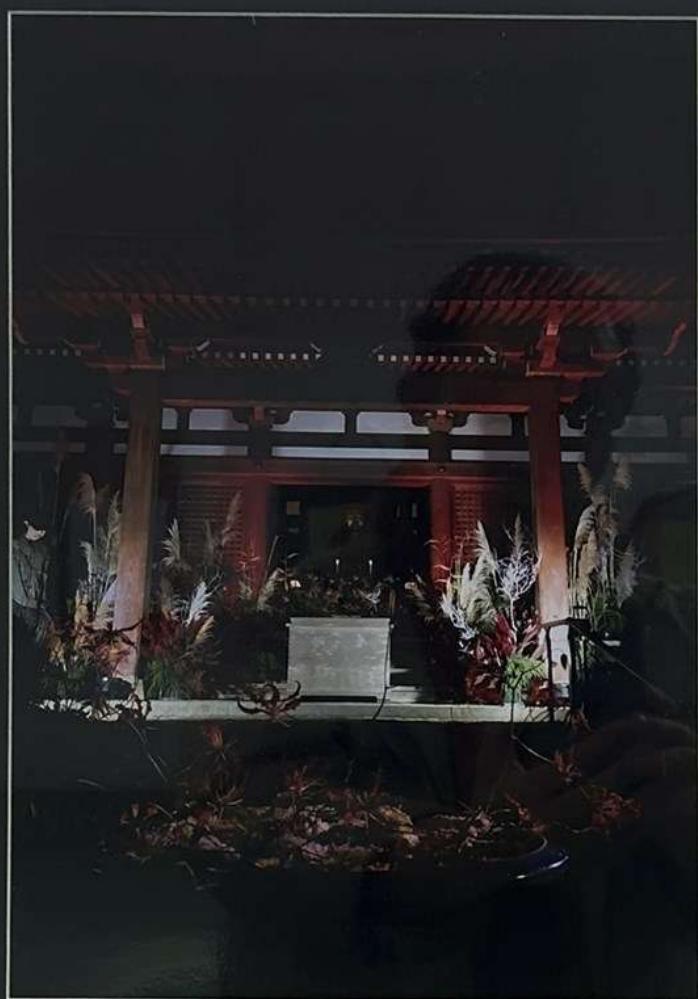
淨瑠璃寺
村上 政子





金蔵院 1
村上 政子

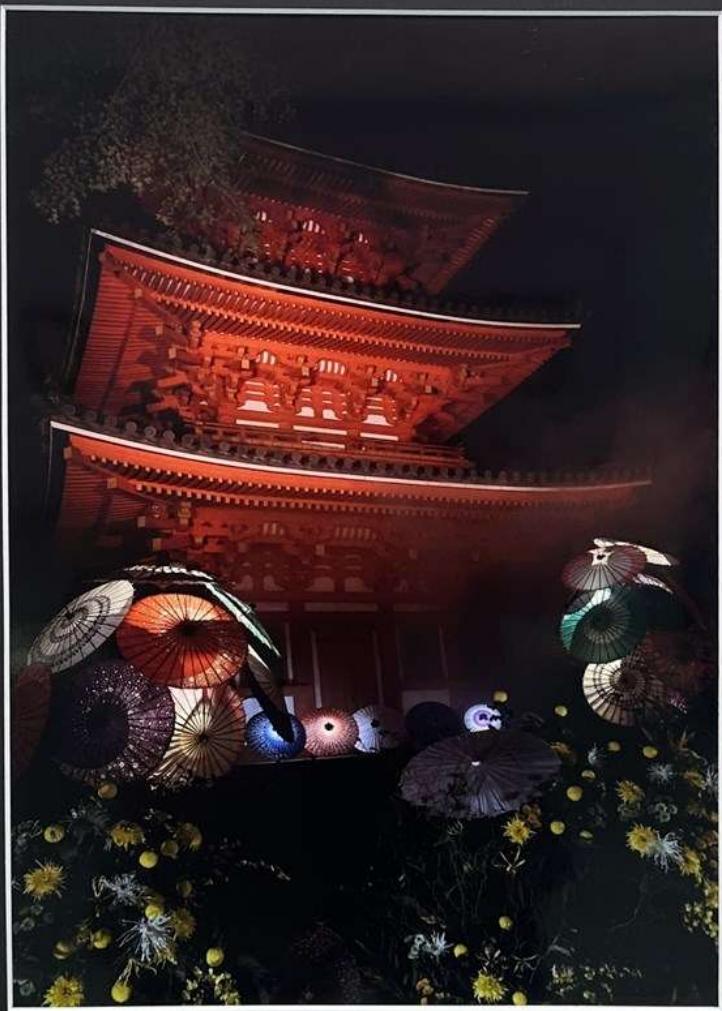




合掌

(ライトアップされた岩船寺)

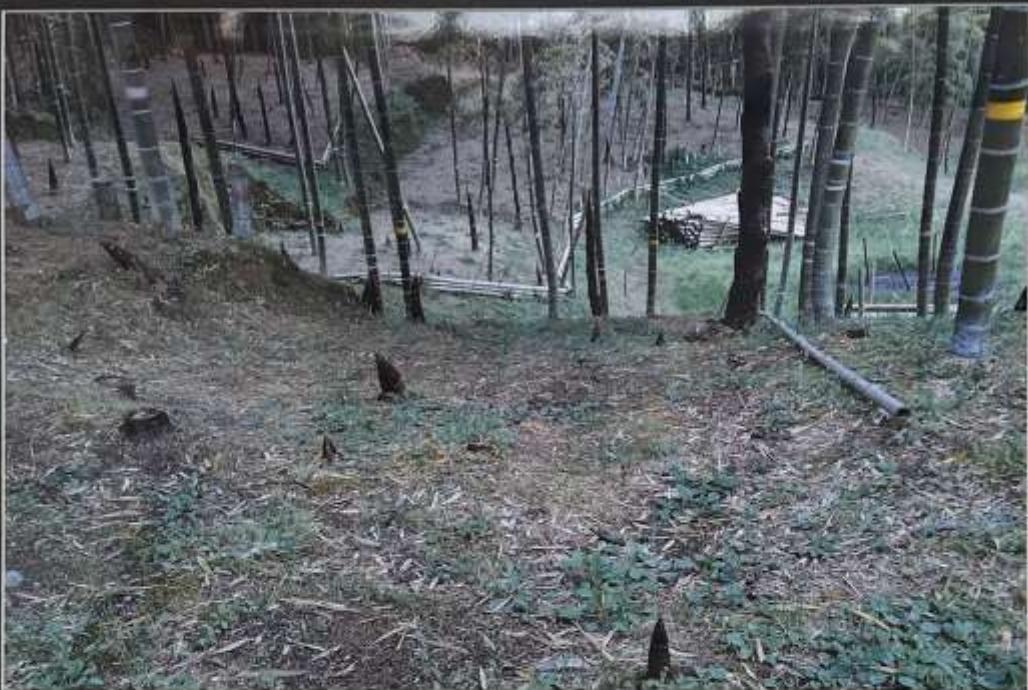
河崎 恭広



美の再構成
(ライトアップされた岩船寺)

河崎 恭広





筍ニヨキニヨキ

三谷 和幸



いづみ写景倶楽部



德安博之



温泉街一·二层楼
摄影 李工

温泉街一·二层楼
摄影 李工



矢来の夏—淨瑠璃寺—
徳安 博之



— 趣一淨瑠璃寺參道茶店 —

徳安 博之



会員以外の写真作品

入江



天を仰ぐ

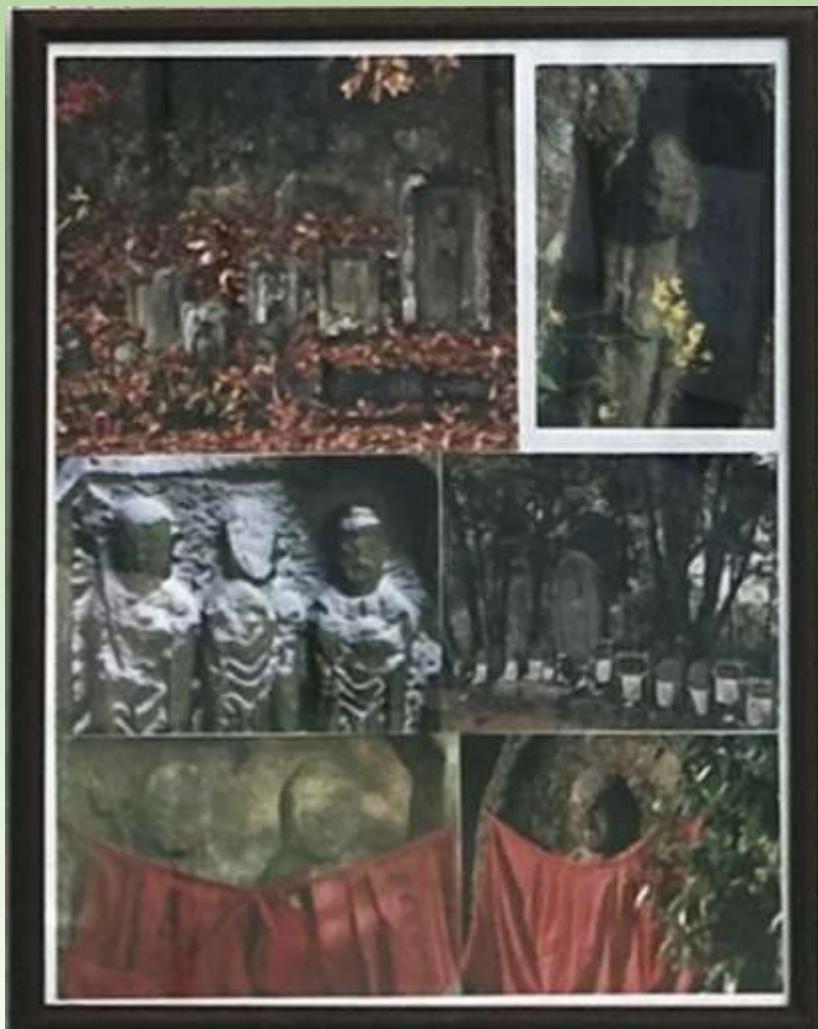
入江 埼一

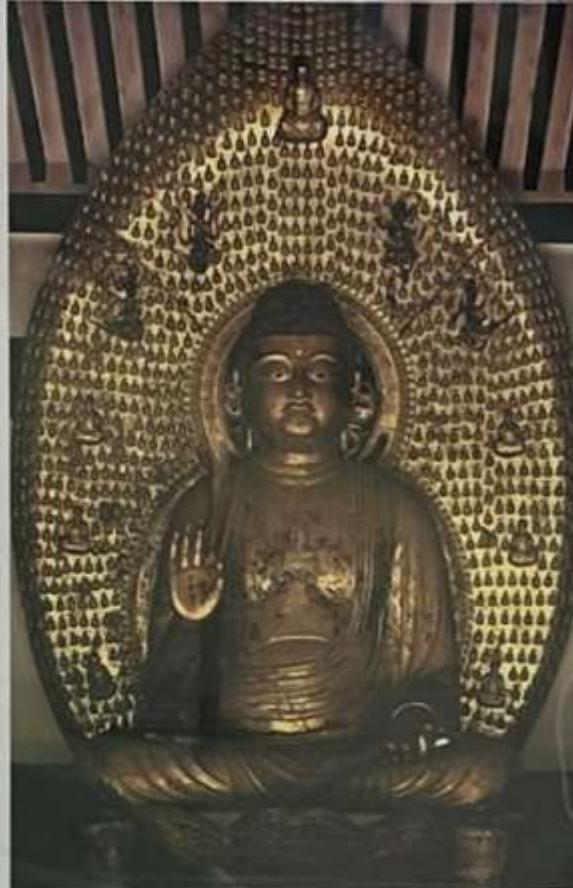
三浦

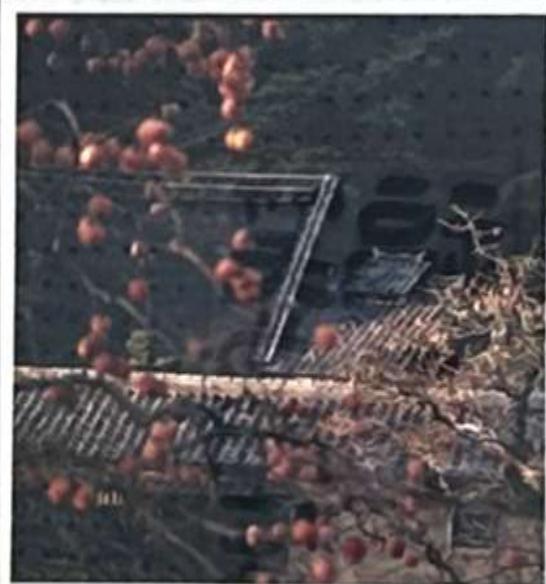


湖東三山「百濟寺」
三浦 孝春

中谷







第11回 当尾文化祭プログラム

1月25日(土)		1月26日(日)	
午前の部	10時00分 受付・入場(鑑賞)開始【展示会場は体育館】 オープニングセレモニー ・開会宣言・来賓挨拶	10時00分 受付・入場(鑑賞)開始【展示会場は体育館】 たこ作り体験 【2階工作室】 ※先着50名(材料費100円)	10時20分 たこ作り体験【2階工作室】 ※先着50名(材料費100円)
	10時20分 販売コーナーオープン【グラウンド】 ※先着50名(材料費100円)	10時30分 販売コーナーオープン【グラウンド】 地元野菜(当尾ごぼう、自然薯他)、おでん、かやくごはん、パン、ケーキ、ポン菓子、コーヒー(一杯100円)他	10時30分 販売コーナーオープン【グラウンド】 地元野菜(当尾ごぼう、自然薯他)、おでん、かやくごはん、ケーキ、ポン菓子、コーヒー(一杯100円)他
	10時30分 販売コーナーオープン【グラウンド】 地元野菜(当尾ごぼう、自然薯他)、おでん、かやくごはん、パン、ケーキ、ポン菓子、コーヒー(一杯100円)他	11時00分 ジビ工料理【グラウンド】 せんざい(1杯200円)【グラウンド】ジビ工料理【グラウンド】 地陽産あずさ使用	11時00分 ジビ工料理【グラウンド】 せんざい(1杯200円)【グラウンド】ジビ工料理【グラウンド】 地陽産あずさ使用
午後の部	11時00分 ジビ工料理【グラウンド】	13時00分 特別講演会 【体育館】 テーマ「身近な城館(じょううかぐら)～当尾にあった数々の山城研究～」 講師/奈良大学城郭研究会木津川市城館調査班 村田陽氏(奈良大学文学部文化財学科三回生)	13時00分 特別講演会 【体育館】 テーマ「身近な城館(じょううかぐら)～当尾にあった数々の山城研究～」 講師/奈良大学城郭研究会木津川市城館調査班 村田陽氏(奈良大学文学部文化財学科三回生)
	13時00分 音楽演奏① 「オーケーバンド「竹とんぼ」【体育館】 あの頃のフォークソングを、あなたと…♪22才の別れ 他	14時00分 音楽演奏② フルートアンサンブル「和楽」【体育館】 ピアノ、チェロ、フルートで懐かしい曲、お馴染みの曲を奏でます	14時00分 音楽演奏③ 二胡(中国楽器)演奏「二胡チームM」【体育館】 ～二胡の響きを、音様の歌声と共に～♪ムードリバー 他
	14時00分 午後の部 たこ作り体験【2階工作室】 ※各販売コーナーは売り切れ次第終了します。	15時00分 閉館	15時00分 閉館
			※各販売コーナーは売り切れ次第終了します。

※プログラムは変更される場合があります。
※各販売コーナーは売り切れ次第終了します。

ボランティア募集中!

文化祭の運営にご協力くださる方を募集しています。
お住いの地域は問いません。当日のみでも構いません。
(詳しくは広西 tel090-2578-3754へ)

※26日(日)は「歴史めぐりマラソン」開催のため、
10:00～11:30頃、一部の区間で通行規制があります。

木津川市コミュニティバス当尾線時刻表		※降車停留所は「辻」
加茂山の家行き (始発)～(最終)	加茂駅東口行き (2便)～(最終)	
発 加茂駅東口 8:44～15:44(毎時44分発)	発 山の家 9:11～16:11(毎時11分発)	
南加茂台1丁目 8:46～15:46(毎時46分発)	辻 9:28～16:28(毎時28分発)	

※26日(日)は、加茂駅発9:44(南加茂台1丁目9:46)と山の家発10:11(辻10:28)は運休となります。

















二胡演奏 二胡チームM



講演「身近な城館」村田陽氏



須川本城

西麓には御所星敷城ノ
村、シンベエなどの地名が
あり、根古屋的な空間があ
る。たと考えられる。

須川城(須川本城)自体は曲輪
数の少ないコンペクト城であるもの
の、一部に石積みをはじめとして石
垣・土塁といふ多様な遺構を
残す。

上記の通り重要な城た
が、一方で主郭東側は鐵
塔の開拓により消滅して
いる。周辺城郭との比較
が求められると共に、これまで
上塙これを防ぐにはどう
ない。



四輪の轍邊部に土盛りをして防御壁とした
施設を土壘と呼んでいる。戦国時代の城の
代表的な防御施設である。

土壘とは?

平面で人
工的に削り取
て敵の侵入を
阻む平面であ
る。戦国時代
の城の中でも最も
普遍的な
防御施設
である。現在
は残ることが
できなくな
ったものは壁
と呼ばれ
ることが多
い。ただし
たる城の中ご
とに壁は侵入を
阻む事である。

↑当尾の城MAP

城郭関連地名

山城に開拓する考えられる大字、小字等
が挙げられる。例としては、御所星敷山、城山、御山、
山、星敷山、馬場山等、城以外の山地的、上緑地、大字
等が挙げられる。城郭開拓され、あがうさと
さんと星敷山等ではない。當時や現在の
ままである。

曲輪とは?

山の斜面を削りだし作られた平地。虎作り配置や
兵の駐屯が可能である。

堀切とは?

尾根を削り取りように挖
いた堀。尾根からの侵入を
阻むことを目的とする。

当尾の城MAP (御所星敷山)

当尾の城MAP (御所星敷山)

当尾の城MAP (御所星敷山)

当尾の城MAP (御所星敷山)

当尾の城MAP (御所星敷山)

西小田原遺跡(宇都宮
県立歴史公園2014年1月撮影)

泉川中学校

地域の花「あじさい」から学ぶ ～あじさいを知り、地域へ発信～



はじめに

京都府木津川市が合併される前の旧加茂町では、町花が「あじさい」であった。総合的な学習の時間において、地域の花であるあじさいに着目し、ふるさと学習を進めていく。あじさいに関する知識を深めるとともに、実際に栽培に取り組んでいくことで、どのようにしたら挿し木の成功数があがるのかを検証していく。また、地域や小学校にも取組内容を発信する機会ももち、地域を学び、地域とつながる力を高めていく。

木津川市立泉川中学校（京都府）



あじさいを学ぶ

岩船寺見学



本校からバスで10分ほどのところにある岩船寺は、多くの花が咲き誇る「花の寺」として親しまれている。の中でも、あじさいは特に有名であり、見頃となる6月上旬から7月上旬には35種5000株のあじさいが咲く。この岩船寺へ行き、歴史を学ぶとともにあじさいの様子を観察した。

講演



京都府立木津高等学校 システム園芸科 辻先生にご来校いただき、植物としてのあじさいの特徴や挿し木の仕方、栽培方法のノウハウをお話ししていただく。植物に対する興味関心を高め、植物を観察するときにどのような点に注目すればよいかを考えることができた。

あじさいを発信する

文化発表会



文化発表会の展示の部では、ふるさと学習での取組を発表した。
3年前から挿し木の活動をしているので、1年生から3年生まで挿し木したあじさいや活動の写真を展示了。

ふるさと学習発表会

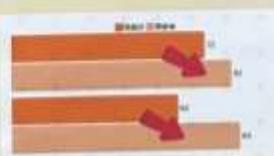


12月10日には、各学年がふるさと学習で取り組んだことを地域の方々へ発表した。岩船寺についてや、あじさいのづくりや種類についてまとめ、発表しました。3学期には、校区の小学校6年生にむけて発表する予定である。

成果と変容

植物に対する興味が高まった生徒が増えた。

地域の花「あじさい」が好きな生徒が増えた。



あじさいを育てる

あじさい挿し木



岩船寺より剪定されたあじさいの枝を挿し木としていただき、挿し木の作業を行った。またこの時には、あじさいについて講話をいただいた。辻先生にもアドバイスをいただきながら活動した。挿し木のようすは、ケーブルテレビKCN京都でも取材され、KCN京都ファミリーチャンネル「【週刊地域トピックス】#120 泉川中学校 あじさい大作戦」として放送され、YouTubeでも配信されている。



あじさい栽培・観察



iPadのタイムラプス機能を使ってあじさいの花が咲いていくようすを観察した。また、光量の多い場所と少ない場所で成長のようすを比較したり、根が伸びていくようすを観察したりした。

あじさい畑作り



校内の花壇などを整備して、大きく育ってきたあじさいをいろんなところに植えています。あじさいの花でいっぱいになる6月が楽しみです。



土に植えるのと水で育てるのでは、水で育てるほうが圧倒的に根が出る確率が高く、水の管理もしなくていいので育てやすかった。

20日近くかけてあじさいの花が咲いていくようすを動画で撮影することができた。

ふるさと学習～1年紫陽花の取組 2年PRパンフレット 3年CM動画



1年紫陽花の取組

2年PRパンフレット

加茂の町・飲食店



事業所編

橋



加茂のそばをあなたが見つけ
てください。お問い合わせ下さい。

3年CM動画

お寺編



Peace 加茂～ふるさと加茂・沖縄市立山内中との交流の歴史展示室&コミュニティルーム～



生徒会 探偵 IZUMIGAWA スクーブ～半世紀前の友情を分かち合えた！～



泉川中学校だけに残された当時のアルバムや文通を太田校長先生

が山内中学校近辺のおうちを一軒一軒訪ねて回りました。その当時の交流していた方々が見つかったのです。58年前に交流していた68歳から78歳方たちの絆をもう一度よみがえらせたい、激動の時代を生きてきた大先輩方の熱き思い我々がかなえてあげようと思ったのです！3年生（現在の高校1年生）が「ふるさと学習」がきっかけで地域の方の偉業（森岡さんの「嘉数の塔」の存在）を知り沖縄に思いを馳せ、交流の糸口を作ってくれました。さらに58年前の交流を復活させた泉川中学校生徒たちの奇跡をさらなる奇跡へ

この機会に感謝の意を表すとともに、

思い出す校歌と空のごう音



本稿乃日本御用御山内中法文源。亦即宋桂紀方舟記附載和解。且曰此中法文源之文以譯者一通目。乃確有元山中法

沖繩・山内中と京都・泉川中

株式会社の本拠地である佐賀県日木町の北側の山中に
が存在する。この山は、佐賀市内に位置する「佐賀城」の山で、
山頂には、佐賀市内の最高の山である「佐賀城」がある。
この山は、佐賀市内の最高の山である「佐賀城」である。
この山は、佐賀市内の最高の山である「佐賀城」である。

58年前の
村井さん・前原さん



再会！



復帰前に交流の卒業生ら再会

（西田） 今日は、お話をうかがいたい。
（内閣官房長官） お話をうかがいたい。
（西田） お話をうかがいたい。

10

木津川市立南加茂台小学校 3年生

総合的な学習の時間「当尾のきゅうりのすてきを広めよう」

3年生は、総合的な学習の時間に進めている「当尾のきゅうりを広めよう」の学習で、当尾の清水さんがきゅうり作りについて詳しく教えていただきました。

見学の際には、いつも清水さんがきゅうり作りについて詳しく教えていただきました。水や肥料の与え方、成長してきたきゅうりの脇芽取り、一つ一つの作業を見せていただいたり、子ども達の質問にも丁寧に答えていただったり、大変お世話になりました。

見学に行くたびに、きゅうりの苗が少しずつ大きくなっていく様子も観察することができました。



清水さんからは、畑でとれたきゅうりをいただき、お家でお料理をして食べました。収穫したてのきゅうりは、とってもみずみずしくておいしかったです。

また、清水さんに教えていただいた「きゅうりのすてき」を全校に広める活動も行いました。



木津川市立南加茂台小学校 3年生・5年生

総合的な学習の時間「お米作りに学ぼう」

南加茂台小学校では、3年生と5年生が米作りに挑戦しています。当尾地域の浦辻長次さんにお世話になり、当尾にある学校田で取り組んでいます。

本年度も、4月末にもみまきをしました。もみまきに初めて挑戦する3年生は、5年生に教えてもらいながら上手にもみまきしていました。



6月中旬には、浦辻さんに育てていただいた早苗を田んぼに植えました。田んぼに初めて入る子どもたちも多く、苦労していましたがなんとか植えることができました。

まだ暑さの残る10月に稲刈りを行いました。のこぎりがまを使って、3年生と5年生が協力しあいながら、一生懸命刈り取りました。刈り取った稲穂をまとめて竿にかけるのが難しかったです。

11月には、5年生が新米を炊いて3年生におにぎりをごちそうしました。自分たちで刈り取ったお米をとってもおいしそうに食べていました。



お米作りで1年間お世話になった浦辻さん、田植えや稲刈りでお世話になった保護者の皆様、ありがとうございました。

木津川市立南加茂台小学校 4・5年生

総合的な学習の時間「石仏の道・浄瑠璃寺・岩船寺の見学」

南加茂台小学校では、1・2年生は生活科、3~6年生は総合的な学習の時間に当尾地域について学習しています。

本年度も、4年生が石仏の道の見学、5年生が石仏の道と浄瑠璃寺と岩船寺の見学に出かけました。

石仏の道の見学では、子どもたちは大きな岩に掘られた石仏を見て、大変驚いていました。



浄瑠璃寺では、九体の仏像を見たり、三重の塔や池についてのお話を聞いたり、詳しく教えていただきました。

岩船寺では、本堂で詳しくお話を聞き、三重の塔の秘密も教えていただきました。

見学にご協力いただいたふるさと案内人、岩船寺、浄瑠璃寺の皆様、ありがとうございました。

華の寺岩船寺



さあこれから岩船寺について話していくよ。最初は岩船寺の魅力についてやはり岩船寺の魅力は是頃の花です岩船寺の花は季節によっています。

春はサクラやウメやシラン

夏はアジサイ 木火は糸工葉やユウニアキ冬はマツリヨウやロウバイなどがあります。岩船寺は季節ごとに違う景色を楽しめます。あとうたみんな岩船寺の正式名称をいろいろかたかおさんほうおうじんそれは高石山報恩院岩船寺です。豆知識にでも入れておいてください。

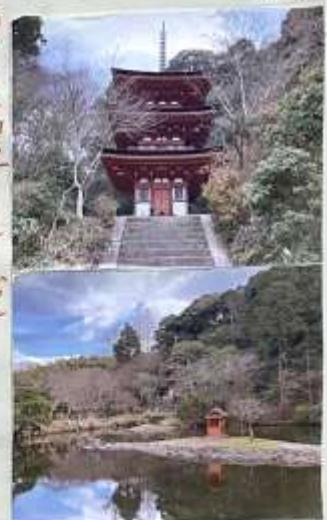
見に行こう京都の誇り文化財

極楽の寺淨瑠璃寺

京都の木津川市にある淨瑠璃寺を知っていますが正石窟な日時は不明です。本堂は1157年に現在の場所に移されたのですがどこから来たものはわかつてません。また京都に建てられた三重塔は、1178年に淨瑠璃寺に移されました。庭園は1150年に作られました。淨瑠璃寺はいくつかの国宝体阿弥陀サロマ像と四天王像それに吉祥天像が並んでおりそれらも国宝です。

(吉祥天像は一年の中で限られた日にしか見られません)

淨瑠璃寺の
バス停の近くには定食屋
も在ります。
猫もたくさん
います。
ぜひ来てくだ
さい。



淨瑠璃寺と岩船寺の地図

バスの時間

帰路は岩船寺発10時30分から11時3分より後毎時30分にバスが来る。

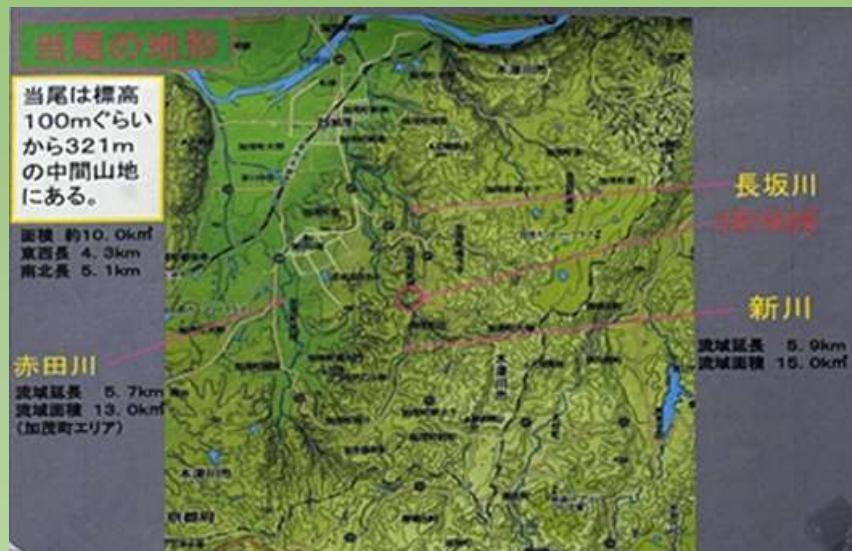
6分で淨瑠璃寺に到着するので淨瑠璃寺を見学してから奈良に帰るには13時45分-14時46分、15時46分などを利用する。

2時台のバスはないので急ぎの旅人は9時04分で出発しても岩船寺と淨瑠璃寺をみて11時46分で帰るのがおすすめです。



淨瑠璃寺

岩船寺



当尾の始まり

時代	西暦	和暦	当尾の出来事	日本の出来事	災害等
古墳後期	570		前門に古墳群が築造される		
	600年代		西門宮跡から多量の須恵器が出土する		
奈良	729	天平元年	行基により阿弥陀堂を建立(岩船寺の創建、伝承)	平城京に遷都する(710)	
	739	天平11年	行基により淨瑠璃寺が開かれる(伝承)	聖武天皇が奈良京に遷都する(740)	畿内七道地震(734)
平安	813	弘仁4	堂塔を建立して岩船寺と号した	空海が真言宗を伝える(806)	富士山(貞観大噴火)(864)
	946	天慶9	岩船寺の阿弥陀如来像造立	醍醐寺の五重の塔ができる(952)	紀伊半島地震(887)
	1107	嘉承2	淨瑠璃寺九体阿弥陀如来堂建立		

北朝一明徳5年(1394年)に、近衛家(このえけ)から春日大社に寄進され、興福寺末慈恩院領となった時の「史料」に「塔尾莊」とみえる・「東寺百合文章」

室町一正長元年(1428年)に、「山田莊一亦号當尾」といわれる。「広橋家所伝文章」

■当尾地域(概要)

木津川市の当尾地域は、市の南東部に位置し、JR加茂駅から約5kmの範囲に位置する中山間地域です。

この地域は、京都府南部でも有数の観光地として年間を通して多くの来訪者があります。

奈良に近いことから、興福寺や東大寺の影響を強く受けたとされ、現在の淨瑠璃寺や岩船寺界隈は小田原と呼ばれ、興福寺の別所として寺院や修行場が散在し、地域の豊富な文化財の多くは、この時代に形づくられました。

次に地名である当尾は、最初「塔尾」として登場します。

「当尾」という地名は、塔の多い丘陵ということからついたとされています。

道端の巨石に彫られた磨崖仏は、数百年を経た今日もなお、訪れた人々の心をなごませてくれています。

これらの歴史的価値をはじめ、地域の方の生業として受け継ぎ・維持されてきた里山の環境は、「美しい日本の歩きたくなる道500選(2004年)」「美しい日本の歴史的風土100選(2007年)」にも選ばれ、今日に至っています。

農村の多面的機能



流域治水



※DID 地区：国勢調査において設定される統計上の人口集中地区。都市地域と農村地域の区分けや狭義の都市としての市街地の規模を表す指標として用いられる。



図 1-12 圏域内河川の整備状況

動物のバッファーゾーン

昔の里山



今の里山





第11回当尾文化祭 2025

発行日 2025-2-1